

進路かわら版

～信義に篤き友集う～ 第1号

進路状況や就職・進学に役立つ情報を提供します。

福島県立石川高校進路指導部 TEL.0247-26-1656 FAX.0247-26-5918

～～進路室利用について～～

進路室には進路(進学や就職)に役立つ求人票・学校案内・問題集・企業や学校紹介のDVDなど様々な資料があります。十分に活用してください。

また、進路室には企業や学校等、外部からのお客様がたくさんいらっしゃいます。より良いマナーを心掛けて利用しましょう。

【進路室利用の流れ】

① 入室前、制服や頭髪、身だしなみを整えましょう。

② 入室、退室は生徒出入口から。

挨拶の例 : 「失礼します。〇年〇組の〇〇〇です。求人票を見に来ました。」

③ 資料の所在など、進路室の先生に聞いてください。

④ 退室の際にも、「失礼しました。」の挨拶を忘れずに。

【注意点】

○ 求人票、学校案内、その他の資料は、勝手に持ち出さないでください。

○ 資料を見た後は、必ず元の位置に戻してください。

○ 静かに利用しましょう。飲食はできません。

○ 求人票はコピーすることができます(7月以降、1枚10円)



『働くということ』

高校生の皆さんはそろそろ「働く意味って何だろう?」「なぜ働かなくてはいけないのだろうか?」そんな疑問を抱いたことはありませんか。

皆さんのおじいさんやおばあさんよりもっと上の方々は、社会の混乱の中で生きていくために必死に働いた時代でしたので、こんなことを考えもしなかったかもしれません。日本は経済的に豊かになり、職業や生き方も自由に選択できるようになりました。

生きるためには食べなければならない、食べるためには稼がなければならない、そのためには仕事をしなければならない、この「しなければ」の繰り返し、大人の言うところの「生活」です。しなければならなくてする生活、生きなければならなくて生きる人生なんかが、どうして楽しいものであるだろう。(池田晶子「14歳からの哲学」)

ここで、「働く=お金」という考え方を挙げてみましょう。例えば、世界の富豪ジェフ・ベゾス(アメリカ Amazon 最高責任者)たちは生涯使いきれないほどのお金を持っていますが、それでも精力的に働いています。また、ボランティアやNPOなど、働いた報酬が「お金」としてあまり入ってこなくても生き生きと働いている人たちもいます。彼らにとって、「働く」とは「お金」だけではなさそうです。そう考えてみると、

「働く」とは、「お金 + ?」かもしれません。

皆さんは、本校に通学しながらこの「?」について考えてみてくださいね。

【普段からの心掛け】

★ 身だしなみを整え、元気な挨拶を心がけましょう。

★ 廊下でお客様にお会いしたときには、元気に挨拶をしましょう。